

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																		
山梨県美容専門学校	2/20/1958	山形 正喜	〒400-0008 山梨県甲府市緑が丘2-13-36 (電話) 055-252-8286																		
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																		
山梨県美容業生活衛生同業組合	2/14/1992	理事長 橋本 光隆	〒400-0008 山梨県甲府市緑が丘2-13-36 (電話) 055-252-8286																		
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																
衛生	専門課程	美容科		平成12年文部科学省告示第15号																	
学科の目的	学校教育法及び美容師法に基づき、一般教養と美容に関する専門教育を行い、教養が高く、知識・技能に優れた美容師を養成することを目的とする																				
認定年月日	2/8/2000																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技														
	2 2年 昼間							2010	1040	970	時間										
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																
160人	141人	0人	8人	18人	26人																
学期制度	■1学期：4月1日～7月31日 ■2学期：8月1日～12月31日 ■3学期：1月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 各科目100点満点とし、60点以上を合格とする																
長期休み	■学年始：4月1日～4月10日までの間 ■夏季：7月15日～8月31日までの間 ■冬季：12月15日～1月31日までの間 ■学年末：3月15日～3月31日までの間			卒業・進級条件	学科科目については総授業時間の2/3以上の出席、実習を伴う科目については総授業時間の4/5以上の出席があること。全ての科目において、不合格のまま残った科目がないこと																
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 本人・父兄との個別面談、三者面談。本人、父兄への電話連絡、電話相談。本人・父兄への訪問指導、訪問相談。本人、父兄への文書・メール等による連絡、相談等。			課外活動	■課外活動の種類 毎年2学期に行われる生徒による制作発表会準備、作品作成。学生技術大会、組合技術大会参加のための技術練習。 ■サークル活動：無																
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 美容所、ネイルサロン、エステティック・サロン、美容材料商、かつら業界、化粧品業界、他			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師免許</td> <td>②</td> <td>66人</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>メイクアップベーシック検定</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>ジュニアメイクアップ検定</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師免許	②	66人	63人	メイクアップベーシック検定	③	20人	20人	ジュニアメイクアップ検定	③	12人	7人	※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 2020年度は、全国理美容甲子園も関東地区大会も開催なし
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																		
美容師免許	②	66人	63人																		
メイクアップベーシック検定	③	20人	20人																		
ジュニアメイクアップ検定	③	12人	7人																		
中途退学の現状	■中途退学者 6名 ■中退率 4.4% 令和2年4月1日において、専門課程美容科135名(令和3年4月入学者含む) 令和3年3月31日において、専門課程美容科129名(令和3年3月卒業生含む) ■中途退学の主な理由 体調不良、経済的理由、進路変更等 ■中退防止・中退者支援のための取組 主として学級担任が、本人、三者面談、電話相談・電話指導、本人・父兄への訪問指導・訪問相談・本人・父兄への文書・メールでの連絡、指導を行っている。必要に応じて学年主任、学校長も学級担任とともに指導に当たる。 年間2回2年間合計で4回以上、全生徒に対して学級担任が個人面談を行い、学習活動の様子、教課外活動の様子などを生徒より聞き出して中退防止に取り組んでいる。その他、学校生活に対するアンケートなどを生徒指導の参考としている。																				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 遠隔地から通う学生に対して「一人暮らしサポート制度」と称して、月額1万円を給付している ■専門実践教育訓練給付：給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無																				
当該学科のホームページURL (留意事項)	<a href="https://www.yamabisen.net">https://www.yamabisen.net</a>																				

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の

#### 4. 就職率の扱い

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業と密接に連携し。日々の授業、教育活動、行事等が実際の美容現場の状況と乖離していないか、検討し、不十分な点は改善・刷新する

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け  
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

山梨県美容専門学校校長・教頭・主幹・事務主事 4名が学校委員会を構成する。これに加えて団体役員として、山梨県美容業生活衛生同業組合の理事1名、及び企業・施設の役職員として、県内の美容所開設者1名、有識者（学識経験者）として山梨秀峰調理師専門学校 理事長・校長に委員会に入って頂いている。まずは、学校委員会内部で問題点、改善点を討議・精査してから、外部の委員から意見を頂いている。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
荻野 直樹	山梨県美容業生活衛生同業組合理事	令和3年4月1日～令和4年3月31日（1年）	①
古屋 貞良	山梨秀峰調理師専門学校 校長	令和3年4月1日～令和4年3月31日（1年）	②
手塚 勉	Creer Beaute 手塚 開設者	令和3年4月1日～令和4年3月31日（1年）	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回（概ね12月 2～3月）

(開催日時（実績）)

第1回 令和2年 12月 18日 14：00～16：00 開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大につき、書面開催

第2回 令和3年3月 書面開催

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

昨年（令和2年3月）卒業の第62期生より、学習課程が大幅に改正された。学習内容がより実践的内容となった。一例として、物理・化学という旧科目は、「化粧品化学」という科目名に変わり、美容師が日常使用するシャンプー・リンスに代表される化粧品類に関する化学を主として学習する内容となった。加えて、学科科目の時間数を削減し、より多くの時間が実習科目にあてられるようになった。これに伴って、国家試験科目も従来の5教科から7教科に教科数が増え、昨年度に引き続き今年度も、学校も学生も新課程移行の過渡期という状態であったことに加え、まず第一に新型コロナウイルス感染予防対策に追われる状態にあり、学校側に委員様のご意見を活用する余力がなかった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生が在学中に美容業の日々の実践的な業務を体験・学習することを目的として、実際の美容現場の現状を体験し、現場に役立ち即戦力となるよう、山梨県美容業生活衛生同業組合加盟の美容室に協力してもらい、学生を指導していただく。

なお、この実務実習は学生の春期休業中と夏期休業中に行っているため、授業時間としての計上をしていない（2010時間の時間数の中に含まれていない） 令和2年3月、8月と令和3年3月の実務実習はコロナ禍により、やむなく中止となった

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

例年であれば、1年次の終了時（3月）と2年次の夏季休業中に、学生が本校設置者である山梨県美容業生活衛生同業組合加盟の美容所において、5日間美容の実務を学ぶ。その間の出席状況や勤務状況は「実務実習評価表」として、実習先から学校へフィードバックしていただく。前述のとおり、令和2年3月、8月と令和3年3月の実務実習は感染拡大防止のため中止

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容実務実習（授業時間として2010時間の時間数に含めていない）	2年間で60時間（1日6時間×10日間）、美容所で美容の基礎技術と接客、マナー等を学ぶ	(有)トミ美容室 (有)MYA 合同会社 TRUE TRUST (有)花やの前の美容室 (有)モデリスタ 他
	※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 教育活動員に必要な基礎的知識や教育関連の全般的な知識、教育現場の管理能力の習得及び改善提案と実行、また教育活動上の企画力を養うために、教職員の実務経験や能力、担当科目に応じて、関連情報や知識の履修を中心に実施する

(2) 研修等の実績  
 ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 例年通りであれば、年に1回～2回程度、関東地区理容師美容師養成施設教職員研修協議会主催の研修を必ず受講しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催なし。  
 ② 指導力の修得・向上のための研修等  
 例年通りであれば、年に1回～2回程度、関東地区理容師美容師養成施設教職員研修協議会主催の研修を必ず受講しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催なし。

(3) 研修等の計画  
 ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 例年通りであれば、年に1回～2回程度、関東地区理容師美容師養成施設教職員研修協議会主催で研修が行われるが、現時点での開催は未定。

② 指導力の修得・向上のための研修等  
 例年通りであれば、年に1回～2回程度、関東地区理容師美容師養成施設教職員研修協議会主催で研修が行われるが、現時点での開催は未定。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校評価ガイドライン11項目の個々のガイドラインについて、より具体的な「山梨県美容専門学校が評定する評価項目」を加えて、外部の目から見て評価項目が基準を満たしているか、満たしていない項目はどれぐらいあるか、満たしていない項目について、どのような改善処置が可能か、といったことを検討する。また、評価項目は広く一般に公表することとして、学校ホームページ、業界の会報誌、業界の敵総会資料に記載などして、情報を公開することを前提とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	●理念・目標・人材像は定められているか ●学校における職業教育の特色は何か ●社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ●理念・目標・育成人材像・特色・将来構想などが保護者等に周知されているか ●各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
(2) 学校運営	●目的等に沿った運営方針が策定されているか ●事業計画に沿った運営方針が策定されているか ●運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ●人事、給与に関する制度は整備されているか ●教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか ●業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ●教育活動に関する情報公開が適切になされているか ●情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3) 教育活動	●教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ●教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ●学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ●キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ●関連分野の企業・関連施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ●関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ●授業評価の実施・評価体制はあるか ●職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか ●成績評価・単位認定の基準は明確になっているか ●資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ●人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教育を確保しているか ●関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・業務含め)の提供先を確保するマネジメントが行われているか ●関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ●職員の能力開発のための研修等が行われているか
(4) 学修成果	●就職率の向上が図られているか ●資格取得率の向上が図られているか ●退学率の低減が図られているか ●卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ●卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
(5) 学生支援	●進路・就職に関する支援体制は整備されているか ●学生相談に関する体制は整備されているか ●学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ●課外活動に対する支援体制は整備されているか ●学生の生活環境への支援は行われているか ●保護者と適切に連携しているか ●卒業生への支援体制はあるか ●社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ●高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	●施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ●学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ●防災に対する体制は整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	●学生募集活動は、適正に行われているか ●学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ●学納金は妥当なものとなっているか
(8) 財務	●中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ●予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ●財務について会計監査が適正に行われているか ●財務情報公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	●法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ●個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ●自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ●自己評価結果を公開しているか
(10) 社会貢献・地域貢献	●学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ●生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか ●地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施している
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

令和2年度においては、学園祭、学生技術大会他主たる学校行事が軒並み中止となったため、関係者評価委員様から頂いた意見は、換気のためのエアドッグの設置や、フェイスシールドや卓上のシールドの購入のアドバイス等コロナウィルス対策関連に終始した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
----	----	----	----

雨宮 正次	(有)オールユーティエアントー 会長	令和3年4月1日～令和4年3月31日 (1年)	企業等委員
中島 孝雄	美容室 ふあーすと 開設者	令和3年4月1日～令和4年3月31日 (1年)	卒業生
小林 春美	山梨県美容専門学校 1学年在学学生保護者	令和3年4月1日～令和4年3月31日 (1年)	保護者
七沢 久子	山梨県歯科衛生専門学校 校長	令和3年4月1日～令和4年3月31日 (1年)	校長
望月 明美	住友生命甲府中央支部	令和3年4月1日～令和4年3月31日 (1年)	企業等委員(財務専門家)

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )  
URL:URL: https://www.yamabisen.net  
公表時期: 令和3年7月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針  
関係企業に毎月刊行される業界会報誌(山美会報)を通じて情報提供を行ってきている。今後もさらにホームページに随時学校の情報を開示し、正確で迅速な情報を積極的に公開したい

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	カリキュラム、行事予定、目標の設定 ●理念・目標・人材像は定められているか ●学校における職業教育の特色は何か ●社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか ●理念・目標・育成人材像・特色・将来構想などが保護者等に周知されているか ●目的等に沿った運営方針が策定されているか ●事業計画に沿った運営方針が策定されているか ●運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ●人事、給与に関する制度は整備されているか ●教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか ●業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
(2) 各学科等の教育	●目的等に沿った運営方針が策定されているか ●事業計画に沿った運営方針が策定されているか ●運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ●人事、給与に関する制度は整備されているか ●教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか ●業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ●教育活動に関する情報公開が適切になされているか ●情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3) 教職員	担当教員の公表、外部講師の紹介 ●人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教育を確保しているか ●関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・業務含め)の提供先を確保するマネジメントが行われているか ●関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ●職員の能力開発のための研修等が行われているか
(4) キャリア教育・実践的職業教育	実務実習、福祉施設への美容技術サービス等慰問、業界からの講師を招いての社会人として働くための自己啓発セミナー等の更なる充実 ●キャリア教育・実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ●関連分野の企業・関連施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ●関連分野における実践的職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ●授業評価の実施・評価体制はあるか ●職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか ●成績評価・単位認定の基準は明確になっているか ●資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ●高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(5) 様々な教育活動・教育環境	学生技術大会、外部コンテスト、学校環境の充実 ●施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ●学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ●防災に対する体制は整備されているか ●進路・就職に関する支援体制は整備されているか ●学生相談に関する体制は整備されているか
(6) 学生の生活支援	賃貸住宅を利用する際の不動産会社との連携など ●学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ●学生の生活環境への支援は行われているか ●保護者と適切に連携しているか ●卒業生への支援体制はあるか ●社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
(7) 学生納付金・修学支援	さまざまな奨学金支援の充実 ●学納金は妥当なものとなっているか ●課外活動に対する支援体制は整備されているか
(8) 学校の財務	財務の健全化 ●中長期的に学校の財務基盤は安定しているか ●予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ●財務について会計監査が適正に行われているか ●財務情報公開の体制整備はできているか
(9) 学校評価	学校関係者評価委員会の活用 ●自己評価の実施と問 題点の改善に努めているか ●自己評価結果を公開しているか
(10) 国際連携の状況	●留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか ●受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか ●学習成果が国内外で評価される取組を行っているか ●学内で適切な体制が整備されているか

(11)その他	●法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか●個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3)情報提供方法	
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(                    )                    )	
URL: <a href="https://www.yamabisen.net">https://www.yamabisen.net</a>	

授業科目等の概要

山梨県美容専門学校			専門課程美容科	2020（令和3）年度				授業方法			場所		教員	
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
必修	選択必修	自由選択												
○			必修科目 関係 法規・制度	①法制度概要 ② 衛生行政概要 ③理・美容師法（理・美容師・理・美容所への法的規制 他） ④理・美容師法の関連法規	1	30		○			○		○	
○			必修科目 衛生管理	①公衆衛生概説 ②感染症 ③環境衛生 ④衛生管理技術	1 通 2	90		○			○		○	
○			必修科目 保健	①人体の構造と機能 ②皮膚及び皮膚付属器官の構造と機能 ③皮膚及び皮膚付属器官の保健衛生 ④皮膚及び皮膚付属器官の疾患	1 通	90		○			○			○
○			必修科目 香粧品化学	①香粧品概論 ②香粧品原料 ③基礎香粧品 ④メイクアップ用香粧品 ⑤頭皮・毛髪用香粧品 ⑥芳香製品と特殊香粧品	1 ② ③ 2	60		○			○			○
○			必修科目 文化論	①美容文化史 ②美容デザイン ③服飾概論	1 ③ 2	60		○			○			○
○			必修科目 運営管理	①経営管理 ②労務管理 ③接客技術	1 ③	60		○			○			○
○			必修科目 技術理論	①美容用具・器具・機械の取り扱い ② 美容基礎技術 ③頭部技術 ④美粧技術 ⑤和装技術	1 通	150		○			○		○	



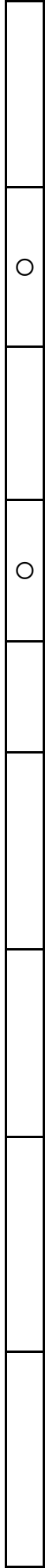
○		必修科目 実習	①美容器具の取り扱い実習 ②美容基礎技術実習 ③頭部技術 ④美粧技術実習 ⑤和装技術実習 ⑥総合的な実習	1 通	900				○	○		○	
○		選択必修科目 (一般科目) ビジネス・ コミュニケーション	①マナーズ(挨拶・接客等ビジネスマナーの学習) ②外国語(美容所における基礎英会話の学習) ③作法(日本古来の文化、茶道を通して究道心を培う) ④学校コミュニケーション 一般教養または専門知識を深めるため、主として美容業界で活躍している美容師等を招くなどして学生の学習意欲を高める	1	100		○		△	○		○	○
○		選択必修科目 (一般科目) 色彩学	①色の表示と伝達 ②色彩心理 ③色彩調和 ④色彩と生活・ファッション・インテリア ⑤配色計画	2 ① ②	30		○			○		○	
○		選択必修科目 (専門科目) 美容総合技術	①制作発表会 作品作り ②美容技術大会出場種目練習 ③広く国内外から美容家を招いての技術講習 ④企業等から有識者を招いての自己啓発セミナー	1	230		△		○	○		○	○
○	}	目田選択科目 (トータルビューティ-) メイクアップ	①年代別のメイク ②日常のシーンに合わせたメイク ③特殊メイクの実習 ④SBSメイクアップディレクター2級合格を目指す				△		○	○		○	
○		自由選択科目 (トータルビューティ-) ブライダル	①ウィッグでのホットカラー練習 ②シニヨン、アップスタイルの練習 ③ブライダルメイクを相モデルで練習 ④白ドレス・チャペルスタイルのヘア・メイク・衣裳を完成させる				△		○	○		○	
○		自由選択科目 (トータルビューティ-) エステティック	①皮膚科学基礎・肌質判断 ②フェイシャル・デコルテのマッサージの実習 ③エステティック機器を用いた技術の実習 ④デイクレンジング等サロンでしかできない技術の実習 ④お客様個別に合わせたトリートメントを組み立てて実習	1			△		○	○		○	
○		自由選択科目 (トータルビューティ-) 着付け	①着物・帯・小物の種類と取扱い方、たたみ方等 ②補正技術と補正小物の作成 ③着物と季節、礼装と準礼装、おしゃれ着物、帯の格付け等を学ぶ ④浴衣着付け実習 ⑤留袖着付け実習 ⑥振袖着付け実習	2 ③	80 時間		△		○	○		○	
		自由選択科目 カラーリング	①バージンヘアへの塗布技術 ②リタッチ技術 ③スライシング ウィーピング ④ホイルワーク	2	2 時間		△		○	○		○	

	○	自由選択科目 (トータルビューティ -) ヘア デザイン	①全体授業より高いカット技術実習 ②スタイリング技術実習 ③より 高度なカラーリング技術実習 ④生徒 が独自にデザインしたヘアスタイルをモデ ルウィッグで作成	① 科目 = 160 時間 ②	△	○	○	○	○
	○	自由選択科目 (トータルビューティ -) ア イデザイン	①まつげエクステンションにおいて非常に 重要なカウンセリングの方法を学ぶ ②人形を用いてまつげエ クステンション技術実習 ③エクステ ンションのさまざまなつけ方(シングル・ ダブル・クロス・ブリッジ等)を実習 ④相モデルでの実習		△	○	○	○	
	○	自由選択科目 (トータルビューティ -) ア ップヘア	①編み込みスタイル技術実習 ②シニョン技術実習 ③ヘアピース等を 使ったシニョン実習 ④夜会巻 き・合わせ夜会・重ね夜会他実習 ⑤ 日本髪の基礎実習		△	○	○		○
	○	自由選択科目 (トータルビューティ -) ト ータルヘア	①国家試験ワインディング ②ウェーブ7 段構成 ③国家試験レイヤーカ ット等 国家試験対策		△	○	○	○	
	授業時間として計上していない学習活動	実務実習	県内の美容組合加盟サロンで、1年次春季休業中5日間、2年次夏季休業中5日間、美容現場で実習を行う【1日当たり6時間】		30時間× 2回 =60				○
合計		12 科目		2010	単位時間( 単				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学科授業においては科目の総時間数の2/3以上の出席、実習を伴う授業については総時間数の4/5以上の出席、各科目の試験において合格する事 (留意事項)	1 学年の学期区分	3
	1 学期の授業期間	13

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。





○
位)

期
週